

あわじ島



今月の特集

販売事業 …… 2~4

JA全農兵庫主力市場情勢交換会

JA AWAJISHIMA

2025(令和7年)

2

No.419

(株)アグリアイランド 作業支援風景
(上段スリランカ・中段左ベトナム・中段右インドネシア・下段ベトナム 出身)

販売事業

令和6年度

JA全農兵庫主力市場

情勢交換会

令和6年度 JA全農兵庫 主力取引



あわじ島農業協同組合

代表理事組合長 原口 和幸

(組合長あいさつ抜粋)

卸売市場の皆さまには、日頃、当組合の青果物販売に格別のご尽力を賜っていますことに厚くお礼申し上げます。

さて、本年度の秋冬作野菜については、定植時期の高温等が大きく影響し、全国的に生育不良また虫害等の発生も多く、生

産者にとって大変苦勞の多い年でありました。そのような中、秋冬作野菜の相場については数量減の単価高となり、特に12月に入ってから、一昨年の12月の販売苦戦とは打って変わり、全品目ともクリスマスから年末にかけて近年稀にみる高値相場となりました。

おかげをもちまして販売高も順調に積み上げされてはいますが、その反面、課題でもある生産面積、取扱数量の減少が顕著であることから、これから産地として面積維持またはV字回復に向けての取組がなお一層重要になってまいります。

昨今の各生産資材の高止まりに加え、燃料油価格激変緩和事業の段階的な補助金の縮小に伴う燃料費の高騰など、生産現場にとって厳しい現状には依然変わわりありません。国会では農産物の適正価格についてようやく議論されてきておりますが、本年の価格が一過性とならないよう当産地におきましても、取引関係者ならびに消費者の皆さまの期待に応えるべく品質の向上に取り組み、更には減少傾向と

「復活」に向けて力強く取り組んでまいります。

今年には巳年であり、『再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年』と言われております。『2025年はさらなる上昇相場』と明るい未来を期待いたします。



JA全農兵庫県本部

本部長 堂本 英之

本年度の青果物の生産・販売状況については、春先から夏場にかけて単価高の品目が多く、秋冬品目に入っても夏場の高温及び虫害の影響もありましたが、全農兵庫取扱青果物についても順調に推移しております。

春夏期の淡路島たまねぎの販

売については、令和4年度に次ぐ高単価で推移。特に淡路島たまねぎの出荷ピークとなる7月には単価高となり次年度に向けて作付け意欲につながる販売となりました。また、本年度は系統集荷率向上のため、あわじ島農協と共にたまねぎ収穫の労働力支援を試験的に導入し、次年度も更なる集荷率UPに向けて支援を継続してまいります。

秋冬品目は、夏場の高温による定植遅れや虫害により、あわじ島農協管内のみならず兵庫県全体の青果物の出荷量が大きく減少し、市場および取引先の皆さまに多大なるご迷惑をかけています。特に契約取引関係の契約方法の見直しも必要と感じており、今後、市場の皆さまのご意見を頂戴しながら進めてまいります。

国会等で農産物に対する再生産価格、適正価格が議論されている中、JAグループとしても安定生産に取り組み、消費者の理解を得ながら適正価格を目指してまいります。これからは過去の経験則だけでは予想出来ないことが起こる可能性が高いため、今後も市場の皆さまおよびJAグループが一致団結しながら、あわじ島野菜のさらなる発

展に取り組んで参りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

市場情勢



東京青果株式会社

常務取締役 戸塚 幹夫

系統(JA)出荷の強み

円安、インフレ、輸送費・人件費の高騰など様々な要因により6千品目超の値上げとなっており。昨今、野菜の相場についても単価高となっています。特にキャベツについては、長期にわたりこれまでに経験のない高値で推移し、加工業務筋では直接取引の不履行による原料調達に

加え、大きな損失に苦慮しています。

2024年、東京都の取扱数量は130万トンとなり、毎年5万トン程度減少となっており。この背景として夏場の高温や生産者の高齢化による生産量の減少が関係しており、特に九州産地の露地野菜、白菜等が目に見えて減少傾向にあります。

高齢化により農業従事者は減少の一途をたどり、2050年には8割減と予想されています。一方で関東圏（茨城、福島、岩手等）においては中国人の農業経営者が増えており、面積を拡大中であると同時に系統（JA）出荷率が非常に高くなっています。今後も青果物の流通量は減少が予想されており、今までは「どう捌くか」でしたが、これからは「どのような付加価値をつけて販売していくか」が重要となり、**系統の集荷力と市場の販売力が高値相場を生み出し、有利販売に繋がる**と確信しています。京浜地区にもあわじ島ファンは多くいます。農業を魅力あるものにするため、生産維持と系統出荷をお願いいたします。



セントライ青果株式会社

参与 林 通夫

主導権を握る

令和6年12月、かつて経験のない青果物kg単価300円超となりました。本年の秋冬作野菜を象徴するような数量減の単価高、また外的要因（高温、虫害）が大きく影響したことに加え、加工・業務関係の割合が60%近くを占め、特に契約取引の割合が増えてきている最中に供給不足に陥れば、本年のような高値相場となることを改めて痛感させられました。現状も供給不足の単価高で推移しており、3月末までは流通量が少ない状況が予想されることから、当面、強気の販売が見込まれます。消費地に目を向ければ各量販

店等においても人件費、光熱費等の諸経費が高騰し、また、同業種による価格競争が経営を圧迫しています。今後は量販店の協業と業務加工の協調・統合が緩やかに進むと思われま

「今こそ主導権を握るチャンス」と捉え、市場の集荷力と販売強化に取り組み、産地とともに価格形成に努め生産維持の一助となるよう尽力してまいります。そのためにも、JAあわじ島ブランド野菜の安定的な生産を長期的にお願いいたします。



大果大阪青果株式会社

常務取締役 **山本尚**

転換期

「天候一つで相場が変わる」

正しく本年度の青果物の相場展開ではないでしょうか。うるう年の昨年は異常気象と温暖化による猛暑日が続き、秋の訪れが遅れて農産物に影響を与えた年でした。

全国的に高齢化に伴う離農者の増加と後継者不足が深刻な問題となっており、特に安定的な収益を求めて実需者との直接取引、契約取引を行う若手就農者のJA離れが全国的に多くなってきています。ただし、今までの固定価格での取引が今後も続けば、安定生産に繋がらないことは明らかであり、契約取引の在り方についても産地、市場、実需者と協議する時が来ているように感じます。

量販店等も実勢に応じた販売方法を模索し始めており、意識の変化が見受けられます。特に安全な農産物と安定的数量の確保、安定供給が出来る市場流通の重要性が再認識されつつあり、まさに**系統野菜の強み（安心・安全・安定）**が期待されています。

「昔は『農業』これからは『生命維持産業』と位置付けられるほど、『食』に対する変

化、転換期が訪れる可能性を秘めています。JA、全農、実需者共に情報共有し、市場の強みを発揮して価格形成に努めていきますので、今後とも健全な土づくりに精励していただき、良質な農産物の出荷をお願いいたします。

産地情勢報告



常務理事 **智康**

産地維持に向けた取組

本年度は春期のたまねぎを中心に葉物野菜も順調な販売となりました。秋冬期についても販売環境も良好であったことから

販売高が順調に推移しております。

夏場の高温、虫害等でご苦労された生産者のご努力に対し市場関係者の皆さまのご尽力に感謝申し上げます。

一方、供給産地の責務として農業従事者ならびに生産面積の減少をどう食い止めるかが課題となっております。

本年度から本格的にレタスの共同撰果作業の導入、はくさいの鉄コンテナ出荷等、作業負担軽減に向けた取組を開始いたします。また、取扱数量の拡大を図るため、たまねぎの短期冷蔵の取り扱いとたまねぎ中生品種の長期冷蔵入庫、新規作物の導入に向けた試験的な栽培など品目拡大の取組を行っています。

また、本年度の販売環境ならびに販売単価等を考慮し適正な価格形成確立のため各関係機関と協議してまいります。契約取引の在り方についても本年の価格状況を踏まえて市場、取引関係者と協議を行いたいと考えます。

今後とも供給産地として生産維持拡大に努め、卸売市場および全農と一丸となって農家所得の向上を図ってまいります。



冷蔵たまねぎ入庫作業



ターザン品種の 長期冷蔵入庫開始

令和6年度よりもみじ系品種に加え本格的にターザンの入庫を開始いたしました。市場等からは淡路島たまねぎの周年出荷を熱望されており、これからも冷蔵たまねぎ入庫数の拡大が期待されています。



鉄コンはくさい収穫作業

鉄コンテナ契約はくさい

本年度も引き続き作業負担の軽減策として、鉄コンテナによる出荷をいたします。現在、はくさいの価格が高騰していますが、次年度以降も継続して取組を実施しますのでご理解の上ご出荷お願いいたします。



共同撰果レタスの荷受けをする職員

共同撰果レタス

出荷作業負担軽減策と新規作付け者および生産面積拡充を目的に令和5年度より開始しました。本年度は出荷者も増えてきており、労力負担の軽減として期待されています。

JA Awajishima
Staff



農強 TOPICS

職員紹介

西淡支所
長谷 桃佳（ながたに
ももか）

私は入組して早くも4年が経とうとしています。現在、西淡支所の金融窓口を担当しているのですが、志知支所の時と比べてお客さんの数も倍ぐらいに増え、まだまだ私の事を知らない方もたくさんいると思います。皆さんに覚えていただけるよう、また、長谷に「対応してもらえて良かった!」と思っただけでいいように、これからの日々の業務を頑張っていきたいと思っています。

昨年の12月は定期貯金のキャンペーンを年末に実施したこともあり、窓口がバタバタして利用者の皆さまには大変ご迷惑をおかけしました。先輩や上司に助けをもらってばかりですが、今はまだ一人前の職員になるための修行だと思いい、いつかはみなさんに恩返し出来るように日々精進していきたいと思っています。



農業支援キャンペーン

農機自動車センター 支援特価で販売!!



キャンペーン期間：令和7年2月1日(土)～3月29日(土)

耕うん爪大特価!! 農機具・自動車・電化製品を特別価格にて販売いたします。(農機具・電化製品は数量限定) この機会にぜひご購入ください!



詳しくは農機自動車センター (0799-42-0513) または各経済センター購買担当までお問い合わせください。

たまねぎ・春野菜農薬 追加予約!!

予約特典 供給時3%値引き

代金決済：令和7年8月12日

予約期間：令和7年2月1日～3月14日

農業生産資材上昇の折、農業生産支援のため農薬の追加予約キャンペーンを開催いたします。

詳しくは各経済センター購買担当までお問い合わせください。



洗車機割引イベント開催!

令和7年2月17日(月)～2月28日(金) 洗車全コース

最大 半額!

(オプションは対象外です)



本所SS

広田SS

LINE® 会員様募集中!



おトクなキャンペーン情報や価格改定のお知らせなどを配信

今すぐ登録

JAあわじ島給油所公式アカウント @660vwlxm

LINE®はLINE株式会社の登録商標です。QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



年金をお受取り
されている方全員に
当選のチャンス!

令和7年
3月から

年金わくわく365

毎月わくわく抽選が始まります!



よりぞう©

当JAにて年金をお受取りされている方を対象に、誕生日で毎月抽選を行います。当選された誕生日の方全員に**5,000円分のJCB商品券**をプレゼント。当選誕生日は広報誌にて毎月発表させていただきます。

※抽選の前月末基準で年金をお受取りされている方対象に行います。

※2/29の誕生日は2/28として抽選を行います。

※年間での再当選可能です。※商品券の変更を行う場合がございます。

詳しくはお近くの各支所・出張所金融窓口または、渉外担当者までお問い合わせください。

当選発表(例)

今月の当選者は

○月○日の誕生日
の方全員です!



肥料専用パレット回収

肥料専用パレット (JAあわじ島・JA全農兵庫) は、肥料の物流・管理に使用します。自宅保管している方は、ご持参いただくか、回収に伺いますので、お近くの経済センター購買までご連絡ください。



洲本税務署からのお知らせ

確定申告書の作成・送信は、
自宅等からスマホやパソコンで!



(国税庁HP)



申告・納付の期限及び口座振替日について

税目	申告所得税及び復興特別所得税	消費税及び地方消費税 (個人事業者)	贈与税
申告と納付の期限	3月17日(月)	3月31日(月)	3月17日(月)
振替日※	4月23日(水)	4月30日(水)	(利用不可)

※振替納税を初めて利用する方は「預貯金口座振替依頼書」を申告期限までに提出してください(オンライン申請が可能)。

確定申告に関する相談会場の開設について

開設場所	洲本税務署 洲本市山手1-1-15(公園前バス停すぐ・史跡洲本城内)
開設期間	2月17日(月)～3月17日(月) 土・日・祝日は開設しておりませんので、ご注意ください。
受付時間	9時～16時 混雑の状況により早めに相談受付を終了する場合があります。

法律相談/3月14日◎10:00～(本所) ※要予約
年金相談/2月23日◎13:30～16:30(本所) ※要予約
相続相談/2月23日◎10:00～16:00(本所) ※要予約

休日ローン相談/毎週日曜日10:00～16:00(本所) ※当日電話予約可
生花教室/2月27日◎、3月13日◎19:00～



ワタナベフラワーと記念撮影する職員

ラジオ放送に職員が生出演

今が旬の

あわじ島野菜をPR!!

12月18日ラジオ関西「Crip水曜日」内の「Yes!ゴリ推しゲスト」のコーナーに当JA販売企画課の北川忠久課長と眞野壮平主任が出演しました。

番組では、旬を迎えている自慢のレタス、ミニ白菜について紹介。パーソナリティのワタナベフラワーの皆さんと美味しさの秘訣やおすすめのお話について。また、レタスサラダを試食していただき、「みずみずしい!触感がシャキシャキとして美味しー!」と新鮮な味わいをリスナーにお届けしました。

番組の最後には、淡路島たまねぎのプレゼント企画を行い、北川課長は「ぜひ、今が旬のJAあわじ島の新鮮野菜を店頭で購入してください」とPRしました。

ビッグベイン病調査実施
あわじ島レタス産地の維持・拡大に
向けて

圃場を巡回しビッグベイン病発病数を確認

昨年12月22日から1月9日にかけて、管内のレタス圃場でビッグベイン病巡回調査を実施しました。レタ

発病率は大幅に減少しました。(令和5年度発病率33・8%)

ス栽培面積の多い地区を選定し、JA営農相談員・農業技術センター・南淡路農業改良普及センター職員合同で577圃場を巡回し、発生圃場率は25・3%となりました。本年は、11月以降の気温が平年より暖かく干ばつ気味に推移したことと耐病性品種や薬剤防除の実施により、前年に比べて

レタスビッグベイン病は土壌伝染性のウイルス病で、発病すると葉脈周辺の緑色が白く退色します。症状が激しい場合は生育不良になり球の肥大が劣るため、収量・品質に大きな影響を与え、生産者にとって脅威の存在になっています。対策としては、耐病性品種栽培に加え、土壌処理剤(キルパー剤)や薬剤灌注処理を推奨しています。

JAでは薬剤処理実施者への助成や散布装置付マルチヤーの貸し出しを行い、「あわじ島レタス」産地の維持・向上に向けて取り組みます。

冷蔵たまねぎ調査
品質向上を
目指し調査

淡路島たまねぎの品質向上を図るため、昨年6月に収穫した試験展示圃のたまねぎを昨年8月に冷蔵入庫し、1回目の品質調査を1月7日に北阿万経済センター集荷場においてJA営農相談員・農業技術センター・南淡路農業改良普及センター職員合同で健全球や病害球の確認を行いました。その後、健全球のみを再度冷蔵入庫し、3月に2回目の品質調査を行い、貯蔵率の高いたまねぎ栽培に活かしていきます。

細かく品質の調査をする営農相談員



淡路農林水産祭

1月15日、「第62回淡路農林水産祭」が伊弉諾神宮（淡路市）で開催されました。境内にはタマネギやレタス、淡路ビーフ、花卉、果樹など淡路島を代表する特産品の展示・販売が行われました。

当日は「豊穰豊漁祈願祭」や伊弉諾神宮の伝統行事「御粥占祭」が行われ、来場者は今年一年の豊作を願いました。農林水産業の振興や栽培技術向上に貢献された方、農林水産物等のコンクールで金賞を受賞された方への表彰式も行われました。当JA管内の農業関係受賞者は下記の通り。

農林水産功労者

南 義晴（賀集）
眞野 文夫（八木）
秦 英喜（榎列）

農林水産物等コンクール（金賞受賞者）

【果樹温州みかんの部】
議長賞 中田 八代美（倭文）

【中晩生かんきつの部】
知事賞 増井 さかえ（灘）
議長賞 福田 昌宏（灘）

【野菜立毛の部】
県議会議長賞 安村 誠二（倭文）

【乳質改善の部】
県議会議長賞 岡本 孝史（阿万）
（敬称略）



淡路和子牛初せり市

昇り龍のような高値は巳年になっても続く

1月18日、淡路家畜市場（淡路市）において本年初の和子牛せりが開催されました。せりの始めに淡路畜連の副会長である乙井理事の音頭で乾杯し、1年間の高値取引を願いました。

出場頭数は雌114頭、去勢166頭、合計280頭が取引され、1頭当たりの取引平均価格は約105万円で前年同期に比べると約19万円高、最高価格は176万7,700円となり、好調なスタートを切りました。

当日は県内外各地から多くの購買者が集まり、各地ブランド牛の素牛となる和子牛に目を光らせ、活気あるせりが展開されました。淡路家畜市場では日本一の相場が続いております。

※価格は全て税込で表示してあります。

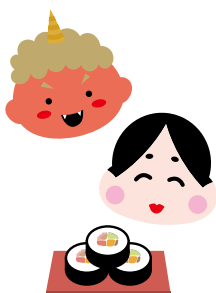


理事会だより

（1月31日開催）

議題

- 令和6年度第3四半期末決算並びに年度末見通しについて
- 法人の組合員加入について
- 特定個人情報取扱規程の改正について
- 令和7年度信連からの借入限度額設定について



JA活動の成果（1月末）

正員	5,384人
組員	3,936人
組合員	(単位：百万円)
貯蓄	209,864
貸出	23,804
長期共済	335,127
購買品供給	4,165
特産品販売	9,728
農産品販売	203
畜産販売	1,143

見聞録

けん
ぶん
ろく

『技能実習生受入の 情報交換を実施』

J A兵庫南 野村組合長来組

1月8日、J A兵庫南の野村隆幸代表理事組合長より依頼があり、意見交換会を行いました。当組合の原口組合長が歓迎の挨拶を行い、子会社(株)アグリアイランドが取り組

んでいる技能実習生の受入の経緯、現状の課題、今後の展望等について、職員が説明を行いました。

J A兵庫南の役員さんからは「10年の実績は説得力があった」、「実際の苦労話を本音で聞くことができ、非常に参考になった」と有意義な情報交換となりました。



質問をされる野村組合長

手指消毒液を寄贈

衛生管理の一助に

12月24日、南あわじ市内7か所の高齢者福祉施設へ手指消毒液各1ケースを寄贈しました。寄贈は感染症予防のため同福祉施設への訪問を控え、配送にて行いました。

なお、今回の寄贈はJ Aが取り組む福祉貢献対策活動の一環として行っています。



寄贈した手指消毒液



ハクサイの結束作業



レタス苗の定植作業



ハクサイの箱詰め作業



ハクサイの結束作業

(株)アグリアイランドでは、多様な国の方々が活躍しています。スリランカ・インドネシア・ベトナム出身の彼らは、母国から遠く離れた日本の農業の現場で一生懸命に作業に取り組んでいます。
2月号では、彼らの真剣な姿と自然体の表情を撮影してきました。現場では、これからも多様性を大切にしながら南あわじの農作業を支え、共に成長していくことを目指しています。

表紙
説明

(株)アグリアイランド 多文化共生の現場で



ハクサイの箱詰め作業

志知小学校



1月9日、志知小学校の3・4年生児童へ営農相談員が「淡路島たまねぎ」について授業を行いました。授業では淡路島のたまねぎ生産量・特徴などクイズを交えて説明し、「みんながいつも食べているのは、たまねぎの葉っぱの部分だよ」と説明すると児童たちは驚いていました。授業が終わると同小学校近くの久保田修さん圃場で定植体験を行いました。児童たちは「手が凍えて冷たいけど植えるのは楽しい！」と寒い中での作業の大変さや達成感を話しました。

市小学校



12月17日、市小学校3年生の児童43名と同小学校内で「淡路島たまねぎ」の定植作業体験を行いました。児童たちは昨年9月、プラントナーに種をまき、苗に成長するまでを観察。もともとあった学習園を営農相談員に相談しながらたまねぎに適した畑に改良するなど、教員と一緒に土づくりにも取り組みました。定植当日は営農相談員が苗の植え方を指導しました。児童たちは丁寧な苗を植え、「収穫が待ちきれない」と笑顔で話し、同小学校の平山先生は「この貴重な体験を将来思い出し、農業に携わるきっかけになってくれれば」と話しました。

たまねぎ定植体験

たまねぎの茎はどこだと思う？



ビニールがあって難しい



手がかじかむ～

1本ずつ丁寧に植える児童たち



大きく育ってね!



耕そう、大地と地域の未来。

JAグループ

12月号で震災のこと、防災のことが載っているという事を聞き、広報誌を見ました。小さい時の事だったのでその当時の大変だったことは覚えていませんが、親になった今家族のために防災用品や家族で話し合うべき事がのっけていて参考になりました。ありがとうございます。

複製 Y・Eさん (30代 女性)

私も当時は守られる方でしたが、今は守る家族ができ、準備をすることの大切さを考えます。もしもの災害時に役立てていただければと思います。掲載しました。これからも皆さんのくらしに役立つ情報を提供していきたいと思えます！

農協まつりで恒例の「ゴボウを購入しました。」「ゴボウのと肉巻き」「きんぴら」「炊き込み」とゴボウづくしで美味しくいただきました。残りのゴボウは畑でおやすみ中です。少しずつ食べていきます。来年も楽しみにしています。

津井 F・Kさん (60代 女性)

支所店舗紹介。各支所の特徴や様子がわかりやすく紹介されているのが面白かった。

八木 T・Kさん (60代 女性)

クロスワードのハガキはクロスワードの専用ハガキでしょうか？普通の郵便ハガキはダメなのでしょうか？ 北阿万 M・Kさん (50代 女性)

郵便ハガキでもご応募いただけます。また、インターネットからも応募できるようにいたしましたので、15ページの二次元バーコードまたは、JAあわじ島ホームページからご応募ください。引き続き、皆さんからのご応募・ご意見お待ちしております！

普段から田んぼはよく見ているつもりではありませんでしたが、春の七草、気にも掛けていませんでした。もう少し気持ちに余裕を持って、色々見つけてみたいと思います。

複製 I・Hさん (60代 女性)

果菜苗の作り方と選び方 野菜作りは苗半作



園芸研究家 成松 次郎

苗作り中の管理の良しあしが、植え付け後の生育に大きく影響します。果菜類では、苗作り中に花芽分化が起きます。果菜類では種まきの時期によって立ちが問題となり、収穫の成否に影響します。

「育苗土の条件」
限られた用土で良い苗を作るためには、良い用土(培土)が必要です。
・水はけ(排水性)が良く、水持ち(保水性)、肥持ちに優れること。
・生育に必要な肥料養分をバランス良く含む、酸度は弱酸性〜中性(pH5.8〜7.0)であること。
・病原菌、害虫、雑草種子を含まないこと。
・土質が均一で安価、しかも入手しやすいこと。
なお、良質な床土の材料には落ち葉、

図1 良い苗の選び方(例トマト)



表1 主な果菜類の育苗温度(目安)

野菜名	最高限界(度)	日中(度)	夜間(度)	最低温度(度)
トマト	35	20~25	8~13	5~8
ナス	30~40	23~28	15~18	10~15
ピーマン	32~35	25~30	15~20	12~15
キュウリ	35	18~25	12~15	8~12
スイカ	35	23~28	13~20	10~13
メロン	35	20~25	10~15	8~10
カボチャ	28~35	20~22	10~15	8~10

参考:長野県「野菜栽培指標」

表2 主な果菜類の育苗日数※

野菜名	種まき時期	育苗日数	苗の大きさ(本葉数)
トマト	3月上旬~	60日前後	7,8
ナス	2月下旬~	80~90日	10~12
ピーマン	2月下旬~	80日前後	10~12
キュウリ	3月下旬~	30日前後	2,3
スイカ	3月下旬~	30日前後	4,5
メロン	3月下旬~	30~35日	3,4
カボチャ	3月中旬~	30日前後	3,4

※中間地での例 参考:タキイ種苗ウェブサイト「家庭菜園 野菜栽培マニュアル」

稲わらなどの有機物が必須ですが、身近にない場合や少量の苗作りでは、市販品の利用が簡便です。これらの用土は、組成が均一で病害虫の心配がありません。

「苗作り中の管理」
(1)温度 果菜類では生長促進と花芽を作るために、やや高温で管理します。果菜類の苗作りは気温の低い季節となるので暖かい場所やトンネル内の育苗にします(表1)。
(2)光 苗作りでは十分な光が必要ですが、春夏の苗作りでは光が強過ぎ、日焼けを起こしたり、しおれが生じる場合は、寒冷しゃなどで遮光します。生育に応じて苗間を広く取り、理想的には互いに葉先が触れ合う程度に広い間隔を取ると良いでしょう。
(3)水分 セルトレーやポット育苗では用土が少なくなるため、頻りに灌水(かんすい)が必要になります。用土の乾き具合を灌水の目安にしますが、ナス、ピーマン、キュウリでは灌水量はやや多めに、メロン、トマトではやや少なめに灌水します。しかし、苗作りの後半には、苗の徒長を抑えるためにやや乾燥気味に管理します。

(4)慣らし 植え付け前に外気に慣らすことを馴化(じゅんか)※(順化とも)といいます。手入れの行き届いた環境から気象の影響の大きい畑に植え付けるため、1週間前くらいから、土を乾き気味にして、十分に光を当ててやります。

(5)植え付け 果菜類は晩霜の恐れのない時期(平均気温16、17度以上)を目安に、逆算して播種(はしゅ)日を決めます(表2)。

「良い苗の選び方」
良い苗を購入するには、次の点に注意して選びましょう。
・子葉が付き、茎が太く、節間が詰まっているもの。
・病気や害虫が付いていないもの。
・トマトやナスでは、膨らんでいるつぼみが見えるもの。
・トマト、キュウリ、ナスなどの接ぎ木苗は病気に強い台木が使われているので、値段が少々高くても作りやすい。
・ポット苗では根が発達し、根鉢が完成しているもの(図1)。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

JA 広報通信より

この記事はWEBではご覧いただけません。

くっただま

皆さんこんにちは！いきなりですが私は英語が苦手です。以前、取材で外国の方を撮影することがあったのですが、会話でのコミュニケーションが全く取れませんでした。手を合わせたり、お辞儀をしたり、大袈裟なジェスチャーで感謝の気持ちを伝えることしかできませんでした。逆に、彼らの方が日本語であいさつをしてくれ、気安く話しかけてくれました。

今回表紙の撮影で再会できたので、私は各国の言葉で「ありがとう」を覚え、伝えることに挑戦しました。その瞬間、彼らの顔に笑顔が広がり、とても嬉しく感じました。さらに、正しい発音を教えてくれ、通じ合う楽しさを体験しました。これからも心を込めたコミュニケーションを心掛けたと思います。

(綾子)

JAあわじ島



※ご応募いただいたみなさまの個人情報は、当選者へのプレゼント発送のために利用させていただきます。

※お寄せいただいたご意見・ご要望などは、当広報誌に掲載させていただく場合があります。掲載された場合、氏名は「イニシャル」で表記いたします。

